

巻頭言

—基礎研の挑戦，そして原点回帰へ—

前部会長の推薦，またそれに伴う部会員の皆様の承認を賜り，2019年度より外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会（基礎研）の部会長を務めさせていただいております名古屋大学大学院の三上綾介と申します。皆様にご挨拶を申し上げるとともに，今後とも当部会をお引き立ていただきますようお願い申し上げます。

基礎研は，多くの方々のご支援を賜り，2013年度の設立から本年度で7年目を迎えることができました。お力添えいただいた方々には，この場を借りて厚く御礼申し上げます。この6年という歳月を経ても，今なお，初代部会長である福田純也先生が掲げられた「みっちりとした基礎固め」という趣旨を念頭に活動を続けております。具体的には，当部会設立以来一貫して，大学院生が中心となり，外国語教育研究に必要とされる文献の輪読や統計手法を学習する週例会を開催しています。加えて，当部会はこの6年間様々な挑戦にも取り組んで参りました。2013年度の設立年度から一昨年度までは，年次例会を開催してきました。年次例会では，通常の学会と同様，自由研究発表や外部の先生をお招きした基調講演の企画を行ってきました。さらに2016年度からは，部会内での活動をさらに活性化させるべく，当部会の参加者同士で研究チームを組み，研究課題の立案から論文執筆までを行うという研究プロジェクトを立ち上げる試みにも取り組んで参りました。

一方，ここ数年で基礎研の運営の中心となる大学院生の数は大幅に減少し，年次例会の開催や研究プロジェクトの実施が困難な状況にも直面しています。しかしながら，こうした現状はかならずしも悲観することではありません。規模の縮小は今なお続いておりますが，今年度も新たに数名を当部会の参加者として迎えました。また，当研究部会が設立された2013年度以来，毎年発行している本報告論集には4件もの研究が掲載されております。

この6年間で基礎研は多くの挑戦をして参りましたが，今は改めて原点に帰り，2代目部会長である田村祐先生が掲げられた「続ける」ということを念頭に，週例会を開催や報告論集の発行に引き続き尽力して参ります。そして，前部会長の西村嘉人先生が築かれた自由闊達な雰囲気の中での活動に邁進して参りますので，今後とも，お引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

三上 綾介

名古屋大学大学院人文学研究科博士課程後期課程
外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会部会長